

第1回宇摩薬薬連携協議会

4月16日 19:00~19:40 参加 16 名

1.採用薬品の推移

4 月新規採用薬剤 6 剤、周知と購入依頼

2.疑義照会について

4/1から 15日までの疑義照会件数と内訳について

処方枚数1661枚のうち疑義122件 7.3%

59%が用法に関するもの、16%が一包化指示、13%が用量に関するもの。

プレアポイドにつながるは疑義2件

・セレコックス服用で以前心停止があり、ペースメーカーを入れた患者にセレコックス処方あり

⇒処方削除

・スタチンとフィブラートの併用禁忌

⇒医師確認後続行

一般名で表示されている後ろにかっこで先発名が記載されているが、先発をだすのか？

マイクロファインプラスの後ろにかっこで院内と記載あり。針は院内？

⇒マスターの整備不足です。針は院外です。勝手に読み替えてくれてかまいませんが、疑義かけようとなおよいです。

3.一般的な処方についての協議

・後発品変更不可のチェックボックスは中止の方向で調整中。

・他科受診の重複⇒薬剤科で処方が見えるので確認を行っている。

・引換券を持ったまま薬局に来る人がまだいる

4.検査結果についての協議

検査値が記載されることについて薬剤師のストレスはあるか？⇒ 特になし

抗ガン剤だけではなく他のハイリスク薬についても処方箋でのやり取りを広げることにについて

どう考えるか？⇒ 特に問題なし

5.内服抗がん剤連携についての協議

まだ数人しか出ていないので処方箋が回っていない薬局もあると思われるが、運用について問題はありますか？⇒特に問題なし

6.プレアポイド活動について

予知可能な副作用の回避、副作用の重篤化回避など服薬指導や薬歴管理を通じて患者の安全管理に寄与した実例報告。どんどん報告してください。